

第6次高浜市総合計画 体系イメージ

将来都市像 ～高浜市が目指すべき姿のキャッチフレーズ～

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

まちづくりの基本目標

基本計画＜目標＞

I. みんなで考え、
みんなで汗かき、
みんなのまちを
創ろう

【協働自治】

- (1) 市民とともに歩む経営を行います
- (2) 子どもにツケを回さない健全な財政運営を行います
- (3) 市民と行政が力を合わせて、ともに地域づくりを行います

II. 学び合い
力を合わせて
豊かな未来を
育もう

【教育・子ども】

・
・
・
・
・
・
・
・

III. 明日を生み出す
エネルギー
やる気を活かせる
まちをつくろう

【活力創造】

・
・
・
・
・
・
・
・

IV. いつも笑顔で
健やかに
つながり 100 倍
広げよう

【福祉・健康】

・
・
・
・
・
・

30
項目
程度

▶ 基本目標 みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(1)

市民とともに歩む経営を行います

本シートは、行財政運営分科会で検討している内容です。

目標達成に向けての考え方

「市民は高浜市の共同経営者である」という観点に立ち、事業の実施・評価・政策形成過程における市民参加を促進し、市民とともにP(計画)D(実行)C(評価)A(改善)サイクルをまわし、市民が主役の行政運営を行います。

- ◆ 総合計画をまちづくりの共通目標とし、マネジメントサイクルの中核に位置づけて実効的な運用を行います。
- ◆ 総合計画の策定時と同様に、総合計画の評価や進行管理のプロセスにも市民参加の場を創ります。
- ◆ まちづくりの目標達成に向けて、総合計画の進捗状況や成果をともに検証し、市民と行政が対話を重ね、市民感覚の行政運営を推進します。

こんなことに取り組みます！

- ☆ 総合計画の運用システムを構築し、市民とともに総合計画の評価・進行管理を行います。
- ☆ 総合計画の評価や進行管理の結果などを市民にわかりやすくお知らせします。
- ☆ 総合計画の施策(みんなで目指すまちづくり指標)や主要事業(こんなことに取り組みます!)を対象にした行政評価システムを導入します。
- ☆ 市民ニーズに基づいた市政運営を行うため、市民意識調査を実施します。

MEMO

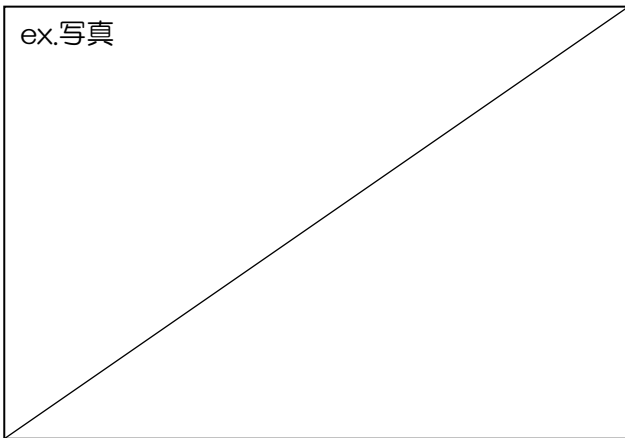
目標が達成された姿

- ★ 市民、行政がともにまちづくりの目標を共有するとともに、地域の課題に関心を持ち、その解決のための方策を共有しています。
- ★ 総合計画の評価や進行管理のプロセスに市民参加が促進され、市民感覚でわかりやすい行政運営が行われています。
- ★ 行政運営の実態を知ることにより、まちに対する愛着を深め、まちづくりに積極的に関わろうとする市民が増えています。
- ★ 職員は、市民の意見をじっくり聞き、行政の考えをきちんと伝え、市民と真剣に対話しています。

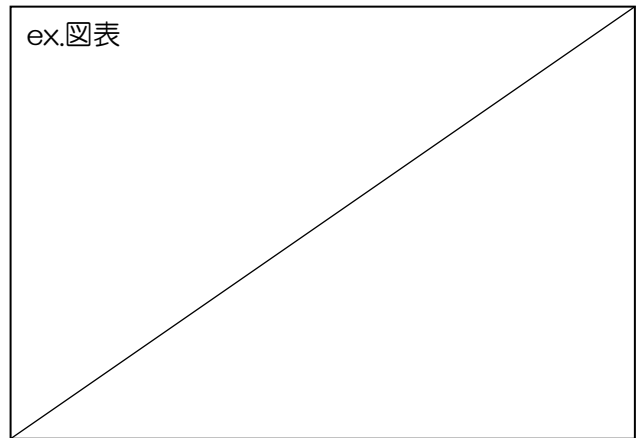
みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値		
		前期（2013）	中期（2017）	後期（2021）
1) 高浜市の将来都市像を知っている人の割合	〇〇%			
2) 総合計画の評価や進行管理に参加した市民の数	〇〇人			
3) 行政評価結果により事務事業の改善に結びついた件数	〇〇件			

ex.写真



ex.図表



MEMO

▶ 基本目標 みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(2)

子どもにツケをまわさない健全な財政運営を行います

本シートは、行財政運営分科会で検討している内容です。

目標達成に向けての考え方

限られた財源の中で、事業に優先順位をつけて、「あれかこれか」を選択し、メリハリのきいた健全な財政運営を行います。

- ◆ 施策の着実な実現のため、中期的な財政見直しにもとづき、計画的な財政運営を行います。
- ◆ 財政状況に合わせて、事業の優先度に基づき、事業決定を行い、予算編成につなげるとともに、執行段階における節減に取り組みます。
- ◆ 行政評価の結果を改善に結びつけ、事務事業の継続的な改善を行っています。
- ◆ 予算編成の透明性を確保し、市民にわかりやすい財政運営に努めます。

こんなことに取り組みます！

- ☆ 中期的な財政見直しにもとづいた財政計画を作成し、わかりやすくお知らせします。
- ☆ 行政評価の結果がどう予算に反映したかなど予算編成過程や財政状況をわかりやすくお知らせします。
- ☆ 事業の見える化やムダの削減を行うため、事業仕分けの手法を活用します。
- ☆ 予算の執行段階における節減を推進する取り組みを実施します。

MEMO

行財政運営分科会検討資料：平成22年6月14日現在

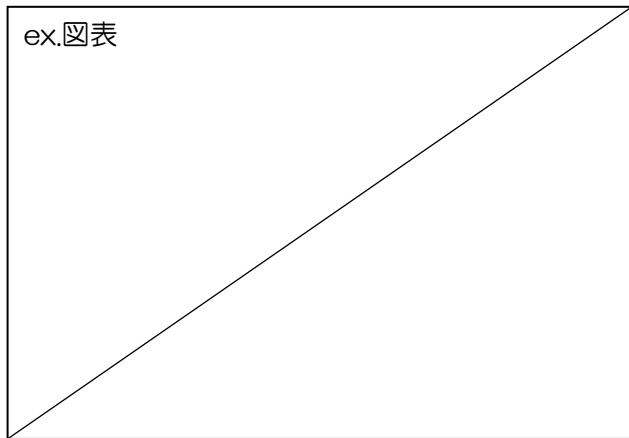
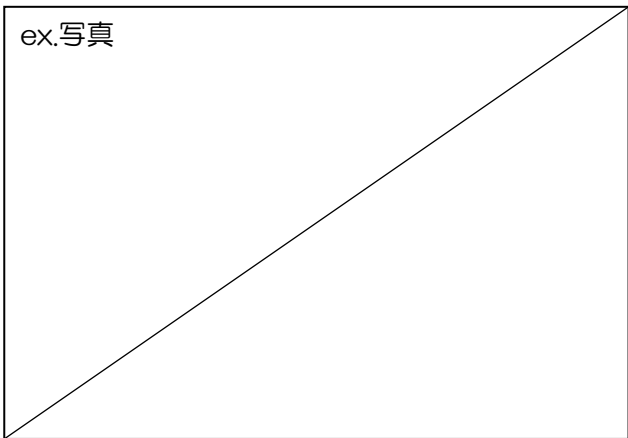
目標が達成された姿

- ★ 限られた財源の中で、事業に優先順位をつけ、「あれかこれか」を選択する仕組みができています。
- ★ 地域の現状や課題をしっかりと把握し、支出が最適化され、子どもにツケをまわさない健全な財政運営が行われています。
- ★ 財政に関する情報が市民に浸透し、市民が当事者意識をもって、市の財政状況を見ています。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値		
		前期（2013）	中期（2017）	後期（2021）
1) 財政力指数※1				
2) 「わかりやすい予算書」を見たことがある人の割合	%			

※1 財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数であり、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。
 財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになり、1を超える団体は、普通地方交付税の交付を受けない。



MEMO

.....

.....

.....

▶ 基本目標 みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(3)

市民、行政が信頼関係を深め、ともに地域づくりを行います

目標（あるべき姿）を
ワンフレーズで表現します

本シートは、
行財政運営
分科会で検
討している内
容です。

目標達成に向けての考え方

・現状・課題を踏まえ、目標設定から達成
に向けての道筋を箇条書きで記述します
・市民が果たす役割、行政が果たす役割に
についても触れていきます。

元気で活力に満ちた地域づくりを目指し、地域の課題解決や魅力の向上に向けて知恵を出し合い、汗をかきます。

- ◆ 「住みよいまちは自分たちでつくる」まちづくりの原則を大切に、「市民が自治する社会」に変えていきます。
- ◆ 多様化する市民ニーズに対応するため、市による画一的なサービスでは、限界があることから、地域の課題を自らの自主的・主体的な活動により解決する新たな自治の仕組みづくりに取り組みます。
- ◆ 行政は、地域の課題解決に向けた取組みに対し、コーディネート役として、自らの責務として組織の枠を超えて、率先して他の部署などと連携します。

こんなことに取り組みます！

上記目標達成のための方策・手段を、
1～4項目程度でまとめます。

- ☆ 新たな自治の仕組みづくりのため、毎年、「新たな自治を創る講演会」を開催します。
- ☆ 地域の身近な課題を地域の力で提案・解決する「市民予算枠事業」を行います。
- ☆ 新たな自治の仕組みを市民にわかりやすい形でお示するため、自治の仕組みを体系的に整備・運用します。
- ☆ 地域に用途を任せられるように補助金を統合し、「まちづくり総合交付金制度」の導入を検討します。

MEMO

目標が達成された姿

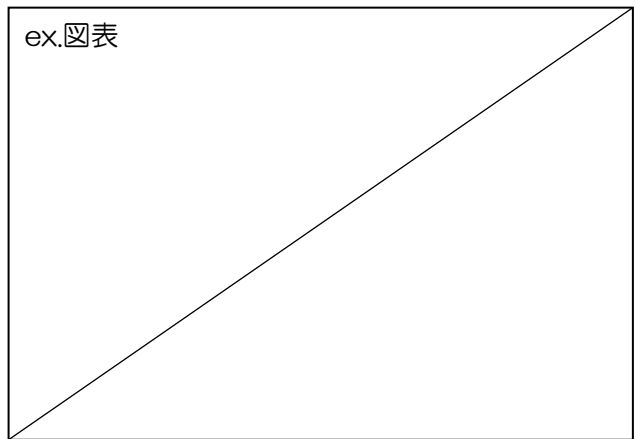
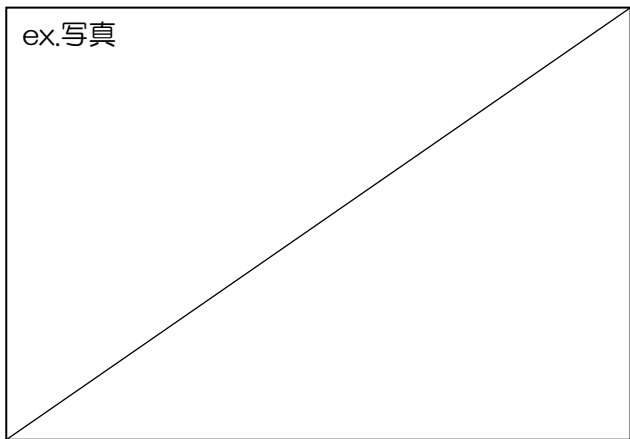
目標達成後の理想の姿を、
1～4項目程度でまとめます。

- ★ 市民、行政の意見交換が活発に行われ、お互いの信頼関係が深まるとともに、市民と行政の距離が縮まり、ともに地域づくりを行っています。
- ★ 地域の課題を地域の自主的・主体的な活動により解決する取り組みが活発に行われています。
- ★ 市民同士がきちんと話し合いをして、お互いに納得できる合意を創り出すなど市民の自治力が向上しています。
- ★ 公共をさまざまな主体が担い、地域のニーズに即した税の活用が行われています。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値		
		前期（2013）	中期（2017）	後期（2021）
1) 「まちづくり協議会」を知っている人の割合	〇〇%			
2) 地域活動に参加している人の割合	〇〇%			
3) 地域活動に参加している人の中で、行政は活動を後押ししてくれていると感じている人の割合	〇〇%			

【他に考えられる指標は？】
 ・自治基本条例を知っている市民の割合
 ・自分たちの住んでいる地域の良いところを説明できる市民の割合



MEMO

